

企画展開催中

文と絵で伝える地域の歴史

「浜松今昔物語」

平成 28 年 4 月 24 日 (日) まで

「姫街道」や「塩の道」など、「暮らしの道」に視点を当てました。「京丸牡丹」「井伊家のはなし」など、「浜松市」に残る数々の史実をお楽しみください。



浜松文芸十人の先駆者紹介

その8



《仙境溢れる蛇笏賞俳人》 相生垣瓜人

「相生垣瓜人」は、大正 6 年故郷兵庫県から東京美術学校へ進み、大正 9 年に卒業し、浜松工業学校へ赴任した。

昭和 3 年から『ホトトギス』に投句を始める。その後、水原秋櫻子の思潮に魅力を感じ、昭和 6 年『馬酔木』独立を機に『ホトトギス』を去り、『馬酔木』同人となる。

戦後、昭和 23 年から百合山羽公と共同主宰で『海坂』を創設。『海坂』は現在も健在で平成 28 年 3 月、通巻 830 号に達した。

瓜人は、昭和 36 年に馬酔木賞、昭和 51 年に『明治草』により俳句界最高の蛇笏賞に輝く。初期の作品には絵画的な句もあったが、漸次無欲清澄の眼で森羅万象を、時にはユーモラスに、時には風刺的な作風でとらえ、独自の世界を切り開いた。

梅雨明けぬ猫がまづ木に駆け上がる
家にもて見ゆる冬田を見に出づる
明日食べむ瓜あり既に今日楽し
第九聞く歳尾の責も果たしけり
ついにゆくみちのほとりのひなたぼこ



瓜人の手による「海坂」表紙



若いころより好んで画いた瓜人仙境の俳画面色紙

昭和 60 (1985) 年 2 月 7 日、風邪と心筋梗塞を併発して死去。享年 86 歳。

* 浜松工業高校に、句碑「秋日和散歩唱歌もわすれぬし」がある。

浜松文学紀行

「新しき村」が縁で結ばれた武者小路実篤と浜松

『浜松百撰』昭和 33 年 4 月号に、武者小路実篤は「浜松市と僕」という文章を寄せている。武者小路にとって浜松は特別親しみを持っているところで、東海道沿線の最寄駅の中では浜松が一番縁が深く、名古屋や静岡の倍以上訪れているという。「それは浜松に友人が居るからであろう」と書き、次のようにつづけている。

僕が新しき村の仕事を始めた時、浜松の山本貞次郎君（若くして死んだが）が浜松支部を作ってくれたので、浜松市外の山本君の処に行き泊って、浜松で講演をしたのが浜松を訪れた最初で、今から四十四年前の話である。大正七年だったと思う。その後も何度か山本君の処に泊り、浜松で講演会をした。又浜松には松本長十郎君が居るので、山本君が死んでからも、何度も出かけた。

松本長十郎は、明治 42 年（1909）4 月、武者小路が志賀直哉や有島武郎と共に創刊した「白樺」の熱心な読者となり、大正元年の終わりごろ武者小路と岸田劉生に手紙を送り、文通をするようになった。2 年後には、初めて武者小路と岸田劉生を訪ねている。この時、武者小路 27 歳、岸田 21 歳、松本はまだ 17 歳で皆驚くほど若かった。

武者小路が九州日向の国（宮崎県）に、同志 19 人と新しき村を創設したのは、大正 7 年 11 月のことである。その 2 か月前の 9 月 23 日、新しき村開村のため夫人と共に九州へ向かった武者小路は浜松で途中下車、翌日伝馬町のメソジスト教会で文芸講演会を開かれ、約 60 人の聴衆に向かって新しき村への賛同者を募った。伝馬町の料亭八百吉には、現在も一目で武者小路実篤揮毫とわかる「八百吉」と書いた掲額が飾られている。時日の記載はないが、武者小路がこの時泊まった宿が八百吉で、その時の書ではないかと思われる。

武者小路は 15 歳の時、姉の一周忌に和歌山へ向かう汽車の窓から見た浜名湖の美しさに惹かれ、22, 3 歳のとき一人旅の初日に浜名湖で下車、弁天島の宿に泊まっている。浜松へ行く時はほとんどが講演のためで、どこかを特別見物したことはないようだ。浜松の記憶として残っているのは、骨董の蒐集家として知られる谷口健康医師宅の床の間に置かれていた薩摩芋で、「あんな美事な薩摩芋は空前絶後と云いたい程立派で、僕もほしく思った事を覚えている。野菜を描くのが好きなので、なお感心し、忘れる事が出来ないのだと思うが、大きさといい、形といい、色といい実に立派な芸術品だった」と記し、別の日、日本楽器を訪ねて川上源一社長の顔を描いたが、その時もらった本をどこかへ失くしてしまったことなども忘れられない記憶だという。そして、次のように結んでいる。

一番後に浜松に行ったのは、新しき村の二十年以上の会員だった人が集って「浜名湖を見物しよう」という事になった時で、その時方広寺を見物してから湖上を舟にのって見物した。雨が降って遠くが眺められなかったのは残念だったが、十五の時の夢を五十七、八年たって果たした事になった。

ともかく浜松市は僕には忘れられない市であることは事実である。

松本長十郎は昭和 43 年から 23 年間、百余点にのぼる武者小路実篤資料を展示する無尽蔵美術館（別名武者小路美術館）を浜松市笹ヶ瀬の自宅の一角にオープンした。